



# はなみずき

横浜市立鶴ヶ峯中学校  
学校だより No. 245  
令和6年 1月9日

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/tsurugamine/>

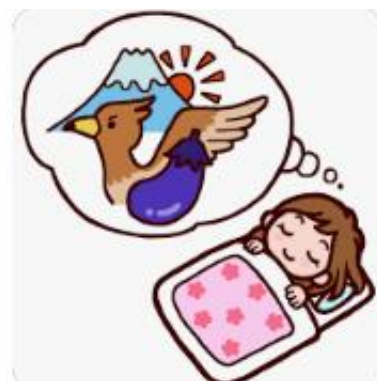
## 学校教育目標

生徒一人ひとりが生き生きと自分らしい生き方を切り拓いていくための学びの場として、本校は次のことを重点とした教育活動を進めます。

自ら学び伸びる (知)  
共に生きる (徳・公・開)  
健やかな体をつくる (体)

## 今年もよろしくお祈いします

昨年4月より伝統ある鶴ヶ峯中学校の校長として、上記の教育目標の実現に向けて、取り組ませていただいております。授業参観や部活の大会、地域の行事等で、保護者や地域の方々とお会いし、お話を頂く機会がありました。本校卒業の多くの方々が、本校学区に今もなおお住まいで、本校に関心を寄せ、また母校愛と共に見守っていただいていることを強く感じた一年でした。



本校は今後数年の間に生徒数の減少が見込まれています。当然、教職員の在籍数にも影響が生じ、教育活動の見直し等、様々な取組が要求されます。教育活動を精選しつつも、生徒一人ひとりが達成感や自己有用感を実感できるような充実した教育課程の作成に向かいます。学校運営協議会の委員の皆さまや、学校評価アンケート等に寄せられた保護者の方々のご意見を大切に、今後も精進してまいります。

本年もご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお祈いします。

## Lunch Time in 校長室

1月29日に生徒会本部役員選挙が行われました。2年生、1年生から多くの生徒が、「私たちの鶴中を創ろう」という志のもと、役員に立候補しました。定員があるものですから、選挙という形をとりましたが、志と実行力を学校づくりに関わる他の仕事に活かして、新役員たちをサポートしてほしいと、校長からもお祈いしたいと思っております。

役職	目標や抱負などを聞いてみました
会長	明るく落ち着きある学校を創っていきたい
副会長	会長のサポートをしっかり行っていきたい
副会長	頑張っって良い経験を積み重ねたい
書記	目安箱の存在を知らせ、使い方を周知したい
書記	学校から悪口をなくしたい
会計	長所を生かして頑張りたい
会計	苦手なピーマン克服と任された仕事を頑張りたい

さっそく、本部新役員を校長室の招いてお話しを聞いてみました。

## Q.鶴中のよいところ、イチ押しは何ですか？

「あいさつをよく交わし、元気で明るいところ」「声が大きい」「好奇心が旺盛なところ」などが上がる中、「自分から手を挙げて発言できる」とことという答えが印象的でした。「発言できる」のは、「発言できる雰囲気がある、つまりクラスに他者の意見や考えを受け容れる力があるということです。一人ひとりの意見・考え方を大切にすることが一層充実すれば、「いじめ」が生まれにくい風土、土壌を作ることにつながります。

「みんな行事に集中できる」という答えもありました。鶴中生それぞれが、「行事の成功」を共通ビジョンとして、それぞれの持ち味を活かす—協働や連携など、通常の授業ではなかなか味わえない、達成できない喜びだと思えます。

## Q.鶴中のこれからの課題、あるいは挑戦していくべきことは何ですか？

明るく元気なところは良いのですが、「大切な事、大事な事をきちんと話せる関係を作り深めていく」とことと答えてくれました。相談に乗った内容があまりに重たいと、答えを出すのは困難だけれども「それは親や先生に相談した方がいいよ。」と助言はできると思えます。

また、いつも陽気で明るいだけでは駄目で、T・P・O（時、場所、目的）を考え、ふさわしい言動も必要だと考えているようです。

## Q.皆さんは、鶴中の更なる発展においてどう取り組んでいくつもりですか？

先日の保健美化委員会で行った「食育向上プロジェクト」授業において、グーグルフォームを用いて各クラスから意見を集めた手法が話題になりました。現在、本部では「目安箱」を設置して生徒会員からの意見を集めています。意見箱利用方法の掲示を行っていますが、今一つ充実していないと感じている中で、端末を用いた非常に画期的な方法と実感しているようです。新たなチャレンジはあるのでしょうか。

## Q.鶴中のみなさんへひとこと

「学校をよりよくするため皆さん協力をお願いします。」「どんどん意見を出してください。」「戸惑うこともあると思いますが全力でぶつかります。」「一人ひとりの意見を大切にしたい。」「ルールやマナーを守って気持ちよく過ごせる学校にしましょう。」「意見が出やすくなるクラスの雰囲気づくりを」「クラスの意見を学校全体につなげる工夫をしたい。」

# 鶴中 食育向上プロジェクト

学校保健委員会 主催

～いろいろな機会にいろいろな人たちと食育を考えていこう！～

12月13日（水）6校時に、学校保健委員会による食育の授業が行われました。当日は、本校に学校医、学校歯科医の先生方と、本校PTAの方々、さらに不動丸小学校6年生の代表児童12名と引率の先生方をお招きして、全校放送で各教室をつなぎ、上記のテーマで一緒に考えて、意見を交換しました。

鶴中保健美化委員会（以下委員会）では、このプロジェクトを推進するためにこれまで様々な取組を続けてきました。市庁舎1Fに店を構える「TSUBAKI食堂」との食育コラボとして、旭区内の食材を利用して旭区にちなんだ「井もの」を委員会で考案し、食堂のメニューに加えるというもの。凄いことになりました。

また、鶴中祭では調理室の前に「鶴中版食育ピクトグラム」が展示されましたが、これも委員会と美術部のコラボ制作です。

## 鶴中版食育ピクトグラム

※ピクトグラムとは、情報や注意を示すために表示された案内記号のことです。文字の代わりに図や記号を用いることで、言葉の違いや年齢等による制約を受けずに情報の伝達を行うことをねらいとしています。SDGsでも馴染みのものです。



います。SDGsでも馴染みのものです。



これらの取組の延長線上に、今回の授業がありました。これらの委員会の活動を通して、全校生徒で食育について考え、委員会考案のピクトグラムの中で大切だと思えるもの、これなら実践できると思うものをグループ討議して、クラスで一つ決めました。生徒が考えた理由は生徒にとって身近な話題と結びついており、立派な話し合いができたと思います。何より驚いたのは、クラスで話し合った結果がリアルタイムで放送室の委員の端末に反映し、その場で全校生徒の意見をシェアできたことです。

「食育」の3つの柱は、①どんな物を食べたら健康になれるのか、体に良くないのかを理解し実行していく②食文化の継承や「共食」の意義を理解する③食糧問題や環境問題を考えることです。

子どもの頃、よく祖母に言われたことを授業のまとめで話しました。「『米』という漢字は八十八と書く。農家の方が八十八回手を掛けてこしらえた（作った）ものだから、一粒も残さず食べなきゃいかん」

毎日の家族揃った食卓で、あるいは田舎に帰った時に祖父母と一緒に食卓で、当たり前のように聞かされてきたように思います。

クラスで決めたピクトグラムの取組をできることから実践してほしいと思います。

## 2年生鎌倉校外学習

生徒会本部役員が世代替わりしたことで、部活動も含めた生徒組織ほぼすべてにおいて、3年生からバトンを受けて2年生が学校を引っ張っていくこととなります。2年生は今後、鶴中の「顔」としての真価を問われることとなります。頑張ってください。



さて、その2年生も来年度の修学旅行を見据えて、鎌倉に校外学習に出かけました。

12月15日（金）は、残念ながら快晴とはいかず、小雨の降る中の班行動となりました。班ごとに古都鎌倉の寺社仏閣、史跡、観光名所等を訪れる計画を立てました。掛かる諸経費も細かく計算し、保護者の承諾をもらって実現しました。

鶴ヶ峰駅、鎌倉駅、鎌倉八幡宮をチェックポイントとし、不安と期待が入り混じる中、班員同士で協力し合って、どの班も大きなアクシデントもなく自分達の自主行動を成功させました。生徒は、少しだけ背伸びして色々な事に挑戦することで成長していきます。その過程を見守ることができるのも教師冥利と申し上げるべきでしょう。



## < 1月の主な行事 > ※状況によって変更となる場合があります。

1月 9日（火）	始業式・教育相談・企業運営型学習相談会 ～12日（金）
15日（月）	生徒委員会
19日（金）	個別級区合同学芸会（西公会堂）
22日（月）	生徒評議会
24日（水）	公立高校共通選拔出願 ～31日（水）
25日（木）	1年生職業講話 5、6校時
31日（水）	生徒委員会（2月分）